

「(仮称) 国分寺市新庁舎整備基本計画 市民検討会」結果概要について

1. 実施形式

新庁舎建設の概要説明及び他自治体の事例紹介を行い、グループに分かれて意見交換を行った。

2. 開催日程・参加者数等 (合計参加者 47 人)

日時 (各回 2 時間程度)	会場	参加者
1 月 21 日 (火) 午後 7 時	リオンホール	6 人
1 月 23 日 (木) 午後 7 時	いずみプラザ	15 人
1 月 24 日 (金) 午後 2 時	ひかりプラザ	10 人
1 月 25 日 (土) 午前 10 時	市役所	16 人

3. ワークショップでの意見 (主なもの)

【市民利用に関するもの】

- ワンストップサービス等の使いやすい窓口
 - ・ワンストップサービスの導入
 - ・関連する窓口を同一フロアにまとめる など
- 行きたい場所がすぐわかる
 - ・総合案内・受付の設置
 - ・フロアごとの色分けや見通しの良いフロア, 案内表示でわかりやすく
- プライバシーへの配慮
 - ・カウンターの衝立や個室の相談室の設置
- 誰にでもやさしい庁舎
 - ・障害者, 高齢者, 親子連れ, 外国人への配慮
- 市民が利用できるスペース
 - ・夜間・休日の会議室や閉会中の議会施設の利用
 - ・市民同士の交流やイベント等で利用できる多目的なスペースの設置
 - ・展望スペース
- カフェ・レストラン・コンビニの設置
- 情報発信コーナーの拡充
 - ・市の誇る歴史や魅力の発信, こくベジの紹介等ができるコーナーの設置
 - ・図書館機能の設置

【市民利用以外に関するもの】

- 災害時にも業務継続が可能な災害対策拠点
 - ・電源の多様化 (自家発電機, 太陽光, 電気自動車)
 - ・耐久性の高い建物と内装の耐震化
 - ・各所と情報共有可能な情報通信手段の確保

- ペーパーレス化やフリーアドレス導入による機能的な執務環境
 - ・レイアウト変更が容易でコストがかからない柔軟性の高いフロア
- 周辺施設との連携
 - ・都立武蔵国分寺公園とのつながり（公園からのアプローチ）を確保
 - ・史跡武蔵国分寺跡の観光促進（観光バスの駐車）
- 国分寺らしさの感じられるデザイン
 - ・国分寺市の歴史等をイメージできるもの
 - ・コストをかけないシンプルなデザイン
 - ・周辺施設、街並みとの調和
- 自然エネルギーの活用
 - ・太陽光，雨水，自然採光
- メンテナンスしやすく長持ちする建物

※今回の市民検討会の目的（令和元年第4回定例会の報告資料より抜粋）

（１）新庁舎に求められる機能に関するこれまでの市民意見聴取について
 新庁舎に求められる機能については、これまでに開催してきた懇談会や市民アンケート等においても市民意見をいただけてきました。今後の検討は、これらのご意見と、今回の市民ワークショップでいただくご意見を基本に進めていきます。

（２）今回のワークショップの実施内容

これまでの市民意見を踏まえて平成31年3月に策定した『国分寺市新庁舎建設基本構想』（以下「基本構想」といいます。）において整理した「新庁舎に求められる機能」のうち、庁舎の市民利用に関する内容について、他自治体の事例も参考にしながら、市民が求める具体的な機能について整理します。

※平成29年度の新庁舎建設に関する市民アンケートでいただいた意見

- 理想の市庁舎像についての設問における上位3つの意見
 - （ソフト面）：①一度に様々な手続きや相談ができる窓口がある庁舎（ワンストップサービス）
 - ②防災拠点機能を備えた庁舎
 - ③誰もが利用しやすい庁舎（ユニバーサルデザイン）
 - （ハード面）：①耐用年数が長い堅牢な庁舎
 - ②自然エネルギーを利用して環境に配慮した庁舎
 - ③整備費用をできる限り抑えた庁舎
- その他で自由意見において多かった意見
 - ・広い駐車場や駐輪場
 - ・食堂・カフェ・コンビニなどの休憩スペース
 - ・図書館等市民利用が可能な施設
 - ・シンプルで機能的なデザイン
 - ・市のシンボルとなる庁舎